	老年看護学概論	対象学年・時期	１年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	１単位・１５時間
講義概要	デイプロマポリシー３に基づく。高齢化率が２８％と超高齢社会にある中で、社会の変化に伴い、高齢者の生き様、価値観は変容し多様化している。少子高齢化、核家族や単身世帯の増加などにより、学生は異世代との交流が希薄な中にある。しかし老年期の対象は、学習者にとって「人生の先輩」に当たる。対象は、どのような人生を歩み、また歩んでいくのだろうか。取り巻く環境の現状や課題は何か。老年看護学概論では「対象理解」の基盤と「老年看護の基本的な考え方」を軸に、老年期を捉えていく。		
講義形態	講義　演習		
学習目標	１．高齢者の発達課題と特徴がわかる。 ２．高齢者をとりまく社会環境がわかる。 ３．老年看護の役割と機能についてわかる。 ４．高齢者と家族との関係について理解し、多角的な視点が持てる。 ５．高齢者の尊厳や人権を尊重し、支援する姿勢が持てる。		
学習内容 (授業計画)	１回目～３回目　高齢者の理解 　１）高齢者とは　２）高齢者の特徴と理解　３）高齢者にとっての健康　４）加齢に伴う変化 ４回目　高齢者を取り巻く社会 　１）高齢者の生活と家族　２）高齢者が生活する場 ５回目　高齢者看護の基本 ６回目　高齢者看護に関わる諸理論　高齢者看護における倫理 ７回目　高齢者看護におけるチームアプローチ 　　高齢者のリスクマネジメント		
使用テキスト	老年看護学　①高齢者の健康と障害　　②高齢者看護の実践　（メディカ出版）		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	人体の構造と機能より「老化のしくみ」のまとめ学習 高齢者白書（内閣府）第１章第１節高齢化の状況より「高齢化率」「家族と世帯」第２節高齢期の暮らしの動向の特徴をまとめ学習（ネットでアクセスできます。）		
評価基準と 評価方法	終講試験９０％　課題提出状況１０％		
備考			